



「自分の日（ノー宿題デー）」 試行します

～これからの時代を生き抜く「自己マネジメント力」の育成～

社会がものすごいスピードで変化しています。特にデジタル社会、コンピュータ、AIの進歩はめざましく、教育の世界にも深く入り込んできています。これまでの教育は、極論すれば教師に教えられたことをいかに覚えていられるか、いかに速く処理できるかが学力の肝でした。しかし、今の社会ではその力の多くは、コンピュータが担いつつあります。「生身の人間」ならではの能力の育成が求められています。私は、その中心となるのが、基本的な知識はもちろんですが、「**主体性**」であり「**自己マネジメント力（自己管理能力）**」※目標達成や自己実現のために、自分自身を律し管理すること」ではないかと考えています。学校においてもこれらの能力の育成に向け、積極的に取り組んでいますし、今後も取り組み続けなくてはならないと考えています。

そこで、これまでも「自主学習」という形を取り入れながら、取り組んできた「家庭学習／宿題」をさらに一歩進めてとりあえずは

「週に1日（火）宿題なしの日を設定し、自分で自分のための時間の使い方を管理する日『自分の日（ノー宿題デー）』」

の取り組みを試行してみたいと思います。いろいろとご心配やご意見もあると思いますが、趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしく申し上げます。まずは2回試行してみて、試行期間中に意見を集約しながら問題点を修正していきたいと思っています。

■ねらい■

- 主体的な児童の育成を目指す。
- 子どもの「自己マネジメント力」をつけ、自分の状況（学習・生活・健康等）や興味関心としっかり向き合えるようにする。
- 家庭において、子どもの状況（学習・生活・健康等）・興味・関心等に主体的に向き合えるようにする。

■内容・方法■

- ◎ 毎週火曜日を「自分の日（ノー宿題デー）」※仮称とする。
 - ・ 学校 — 「自分の日（ノー宿題デー）」の取り組みの趣旨を児童に説明し、活動例などを紹介する。
 - ・ 火曜日は宿題を出さない。翌日に提出を求めない。
 - ・ 児童 — 自分の状況（学習・生活・健康等）や興味・関心等に応じて下校後の時間を使う。
 - ・ 学習したり、調べたりしたものを提出したりはしない。
 - ※ ただし、家庭学習カードには（当面）何をしたかを書いて提出する。
 - ・ 家庭 — 児童の発達段階に応じて、時間の使い方をアドバイスしたりする。

■実施までの工程■

- ◎ 取り組みが理解されるまでは試行とし、その後正式にスタートする。
 - 11月 8日（火） 第1回目取り組み（試行） → 実態調査
 - 11月15日（火） 第2回目取り組み（試行） → 実態調査
 - 11月22日（火） （不具合等を修正し、問題なければ）正式スタート予定



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください～

----- 切り取り線 -----